



オンデマンド授業

目次

CONTENTS

カテゴリ	内 容	掲載ページ
挨拶	学長挨拶	03
報告	大薬と国循との共同臨床研究について ～オープンイノベーションラボにおける活動報告～	04
連載	OB・OGの活躍	05
	大阪薬科大学の研究は今⑤	06-07
報告	広域大学連携事業の活動状況 学校法人大阪医科薬科大学のシンボルマーク決定	8
	・薬剤師国家試験について	9
連載	応援隊長だいやくんの「大薬の足跡を追いかけろ！」	10-12
キャンパスニュース	・2020年度前期の新型コロナウイルス感染防止の対応 ・FD委員会活動報告 ・2019年度学位授与 ・2020年度学位授与	13
	学生相談室だより	14
	キャリアサポート課だより	15
	・Webオープンキャンパス 報告 ・2020年度実務実習生白衣授与式について ・2019年度実務実習伝達・報告会について ・2019年度大阪薬科大学研究振興基金助成について	16
	・研究助成金採択一覧 ・2020年度科研費採択者一覧	17
連載	がつつきたかつき	18-22
歴史	マスクの歴史	23
連載	大薬にまつわるエトセトラ	24-25
キャンパスニュース	・第8回大阪薬科大学学術講演会 in 東京を開催しました ・本学の社会貢献活動 ― 市民講座委員会からの実施報告及び今後の開催案内 ― ・論文博士学位記授与式を挙行いたしました ・寄贈 ・イベントの中止について	26
	・健康管理支援室ってどんなところ? ・施設課だより	27
報告	・人事	28
挨拶	新任挨拶	29
キャンパスニュース	フロムLibrary / こちら広報室 / 編集後記	30-31
	薬用植物の紹介「ナツメ」 / 主な後期行事予定 / 表紙のことば	巻末



大阪薬科大学は、2016(平成28)年度に一般社団法人薬学教育評価機構の認証評価を受け、同機構の評価基準に適合していると認定されました。



本学は公益財団法人大学基準協会による2018(平成30)年度認証評価の結果、同協会の定める大学基準に適合しているとの認定を受けました。

Message from the President

未曾有の時代

学長 政田 幹夫

未曾有と表現される出来事が毎年のように起こっています。特に新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大（コロナ禍）は、人々の生活への影響も大きく、“新しい生活様式”への転換を余儀なくされています。教育においても例外ではなく、密を避けるためにキャンパス内の立ち入りを制限し、学生は学習の大半をオンラインやオンデマンドで行わざるを得なくなりました。わずか数か月の間に、斯くも激変することになるとは誰も想像すらしていなかったことと思います。

振り返れば、私が京都大学に入学した1969年は、学園紛争の真只中でした。東京大学は入学試験を行わず、京都大学では、全共闘の学生が乱入したために、入学式は総長の「おめでとう」の一言、わずか10秒で終わりました。大学封鎖により、1・2回生の教養課程の授業はほぼ全てが行われず、一部の専門科目のみがこらうじて開講されました。当時はオンラインもオンデマンドも無く、大学で学習する機会が満足に与えられませんでした。そんな中でも（あるいはそんな中だからこそ）自主勉強会、集会、クラブ活動等を盛んに行い、同級生同士や先輩後輩との大学生生活を楽しめたことは幸せだったと思います。それに比べて現状は、学生同士の交流の機会すら制限されており、50年前より更に厳しい環境下で学生生活を過ごされていることと思います。しかし、そのことを嘆いていても何も始まりません。“withコロナ・afterコロナ”に合わせた生活様式を模索し、皆で出来ることを出来る限り粛々と行い、



知恵を出し合い最善と思われることから始めていく以外に道はありません。

おりしも日本政府は「第5期科学技術基本計画」において、近未来の新たな社会“Society 5.0”を提唱しています。AIやロボットの活用、サイバー空間と現実空間を高度に融合させた社会の実現により、人々に快適で安心・安全な質の高い生活をもたらすことを目指しています。これにコロナ禍が相まって“リモートワーク”、“テレワーク”の活用が進み、新たに“ワーケーション”という働き方も生まれるなど、今まで踏み出せなかった新しい生活様式を始める動きも広がりつつあります。

“未曾有”とは、未だかつてなかったこと、稀有なことを意味しています。今まさにコロナ禍という未曾有の出来事の渦中にいるわけですが、世界中が創意工夫して乗り越えよう、変化に適応しようと努め、日々前進しています。一人一人が出来ることを考え、実践することの積み重ねで、これまでとは大きく異なる世界を拓こうとしています。皆さんにとっても、この先、それぞれの立場、環境で今までとは全く異なる世界が待っていると思われます。

未来の医療の形が変わろうと、医療を担う薬剤師の本質は、薬学の知識・技能を活用して人々が健康で豊かな生活を営めるように支えることです。未曾有の時代であっても、最善の成果が得られるよう全力を尽くし、多様な変化にも柔軟に対応できる薬剤師に向かって一步一步前進することを望みます。

■大薬と国循との共同臨床研究について

～オープンイノベーションラボにおける活動報告～

臨床薬学教育研究センター
教授 中村 任

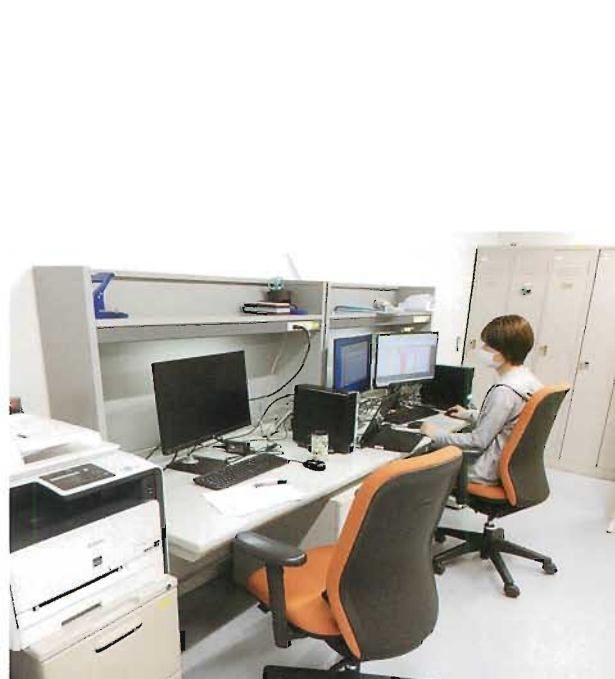
本学は、国立研究開発法人国立循環器病研究センター(以下「国循」)と教育・研究・医療に関わる交流等を促進するために包括協定を締結しているところです。2019年7月、国循において企業・大学等との共同研究の拠点となるオープンイノベーションラボ(以下「OIL」)が整備されたことから、本学は国循薬剤部と連携してOILでの共同研究活動を開始しました。

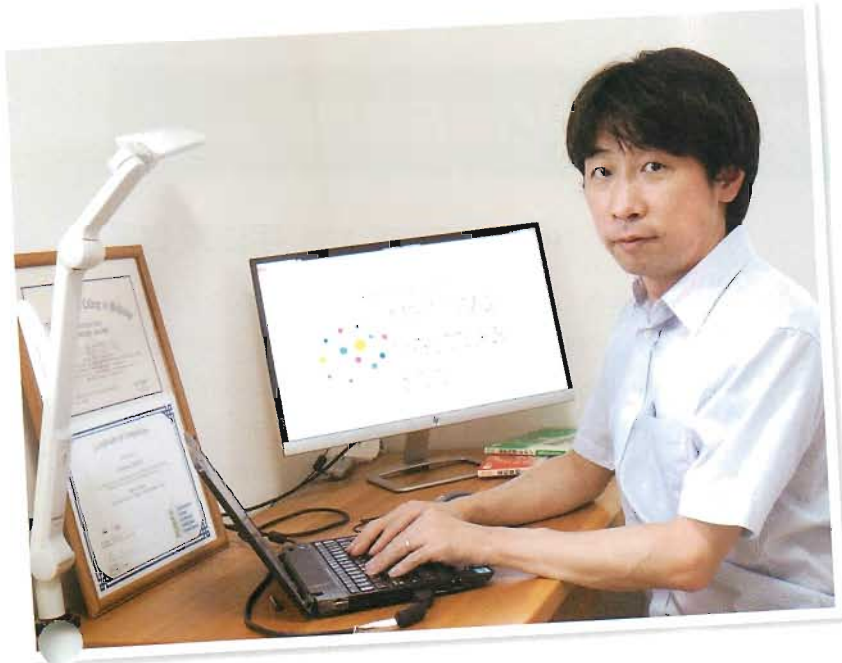
国循では、慢性疾患から心臓移植を必要とする重症心不全まで幅広い循環器系疾患の診療が行われています。当該共同研究では、国循の診療情報や医薬品情報データベース等を活用し、医薬品の有効性や安全性、服薬アドヒアランス等について実臨床における検証および評価を行うことを目的としています。主な研究内容は、(1)慢性疾患に対する薬物療法時の配合錠使用に関する薬学的評価、(2)循環器疾患薬物療法時の副作用発現予測と重篤化回避のための手法確立、(3)循環器疾患治療薬の母集団薬物動態解析と患者個別化投与設計法の確立です。OILは病院の診療区域とは明確に区分して設置されていますが、国循の敷地内にあります。患者情報やデータベースの取扱いに制限はありますが、研究者と医療従事者間の情報交換をスムーズに行うこと

ができ、OILで活動することの最大のメリットと考えます。

現在、研究環境が整ってきたことから本学の学生もOILでの研究活動を始めています。学生は電子カルテを通して医療従事者の診療記事や臨床検査値などの臨床データを閲覧し、研究テーマを設定する際の着眼点や研究を展開するための方法について学習しています。また、身近に臨床現場のある研究環境に身を置くことで医療現場の緊張感を感じながら研究活動を行える経験は、学生にとって大変貴重な機会であると考えます。臨床研究において最も重要である患者情報や研究データの適正な取扱いについて理解を深めるとともに、協力して頂く多くの患者さんのことを常に考えられる研究者になれるよう指導していきたいと思えます。

OILでの今後の研究活動ですが、2019年度末に感染拡大した新型コロナウイルスの影響で研究活動や活動区域は制限されており、社会情勢をみながら慎重かつ段階的に進めていきたいと考えています。また、国循に限らず医療現場には解決すべき課題が山積しております。本学が多くの医療機関と連携しながら学生の教育研究活動が行えるようOILでの活動経験を活かしていきたいと思えます。引き続き皆様のご指導・ご鞭撻を賜りたくよろしくお願い申し上げます。





OB・OGの活躍

雑賀 智也 さん(2000年卒)

株式会社インフロント・メディカル パブリケーションズ サイエンス・ディレクター/メディカルライターズネット 代表/千葉大学附属病院 客員研究員

2000年大阪薬科大学薬学部薬学科卒。2012年東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻修了。調剤薬局、医学系出版社等を経て現職。主な著書に『図解入門 よくわかる最新公衆衛生学の基本と仕組み(第2版)(秀和システム)』『大腸がん 最新標準治療とセカンドオピニオン(ロゼッタストーン)』などがある。URL:<https://medicalwriting.wixsite.com/medical-writers-bank>

Q.現在、どのようなお仕事をされていますか？

現在は、インフロント・メディカルパブリケーションズという出版社で勤務しています。具体的な業務は、クライアントの依頼を受けて、医学論文を執筆し、海外ジャーナルに投稿し、掲載までをコーディネートすることです。弊社のクライアントのほとんどは、製薬企業の開発部、メディカルアフェアーズ部です。

医学論文の状況を少し説明しますと、2018年時点の年間の論文発行数は、中国が米国を抜いて1位、一方で日本は6位です。さらに、データによれば主要8か国の中で論文発行数が減少傾向なのは日本だけのようなのです。この背景には、日本の研究開発力の低下があります。医学の公用語はもちろん英語ですが、言葉の壁も日本人が医学論文を出す上での障壁となっています。英語に苦手意識を持つ人は、大学院卒や医師のような高学歴者にも多くいます。日本の医学研究を押し上げる一助になればと考え、今の業務に日々取り組んでいます。

このほかに私は、「メディカルライターズネット」という非営利組織を運営しています。メディカルライターズネットには医療分野のライター(メディカルライター)が多数在籍しており、会員には、医師や薬剤師、看護師などの医療資格を持つ者が多くいます。情報化社会の中、世間には誤った医学情報が多く流布しています。正しい医学情報普及の必要性を考え、大学院在籍時にメディカルライターズネットを立ち上げました。今年でようやく6年目を迎え、これまでに20冊以上の書籍を世に送り出すことができました。

薬剤師向けの本としては、薬剤師の「スキルアップレシピ」シリーズとして『薬局の現場ですぐに役立つ服薬指導のキホン』『薬局



メディカルライターズネットは、設立から6年で20冊以上の本を発売してきた

の現場ですぐに役立つ 薬局業務のエッセンス』『薬局の現場ですぐに役立つ 実践で学ぶ! 薬局の英会話』を刊行しました。今後も、続刊を予定しています。

Q.大薬生時代に打ち込んだことは何ですか？

比較的、真面目な学生だったと思います。ただ、目立つような学生ではありませんでした。勉強は真面目にしているのに要領が悪いのか、進級はいつも単位ギリギリ。試験ではいつも焦っていました。いくつかの部やサークルを見学したものの、当時、片道2時間半の遠距離通学ということもあって、残念ながら部活動は諦めました。今思えば、勿体ないことをしたと思います。

Q.大阪薬科大学は2021年4月に大阪医科大学と大学統合しますが、今後望むことはありますか？

大阪医科大学との統合は、一つのチャンスだと思います。薬学部の6年制への移行、OSCE導入の背景には、薬剤師の臨床への関わり方の比重を高める、という狙いがあります。大阪医科大学との統合で、臨床を学ぶ機会が圧倒的に増えるでしょう。この貴重な機会を活かして、他の薬学部にはない、「将来あるべき薬剤師像を見据えた魅力的な教育カリキュラム」ができれば、OBとして嬉しく思います。

Q.在学生へのメッセージをお願いします。

卒業生は、製薬企業、病院、薬局のいずれかに就職する人が圧倒的に多数です。このためか、他の選択肢が見えにくい状況にあると感じます。実は、薬学部の卒後の働き方はとても多様です。世の中には、医学・薬学をベースにした、多様なビジネスの機会があります。将来の選択肢を制限せず、自由に挑戦を続けて頂ければと思います。その時に、役立つのが文章を作るスキルです。メディカルライターズネットを立ち上げたもう一つの目的に、薬剤師に情報発信する機会を提供することにあります。興味がある方は、是非ご連絡いただければと思います。

大阪薬科大学の研究は今⑤

創薬研究の原点:生理活性天然物の合成から新反応の開発まで

有機薬化学研究室 教授 宇佐美 吉英

くすりのほとんどが有機化合物であることは本学の皆さんならば良くご承知のことと思います。創薬研究のまさに最初の第一歩は、生理活性化合物の探索、それを作るための新反応の開発にあると言えます。我々、有機薬化学研究室では、「有機合成化学」というキーワードのもと、天然物から新規反応の開発までクラシカルでありながら幅広い研究を行っています。同窓会報第98号27項でも触れたように、現在の有機薬化学研究室は、2011年に旧有機薬化学、有機分子機能化学、薬品合成化学研究室(薬品製造学)が統合されて誕生したため、それらの流れを汲んだ研究が現在も発展的に継続されています。本項では、研究室の歴史を振り返りながら、具体的な研究内容の一部について簡単に述べたいと思います。

まず、天然物の合成研究から紹介します。旧有機薬化学研究室は、生理活性天然物の単離、構造決定を研究主題としており、この流れは医薬分子化学研究室の山田剛司先生に受け継がれています。私は、そこで得られた天然物の合成研究に携わってきました。山田先生らは海洋動物アメフラシ由来 *Periconia* 属真菌の代謝物として pericosine 類と名付けられた大変ユニークなカルバシユガー(炭素偽

糖)構造を持つ一連の天然物群の単離を2008年に報告しました。当研究室は、がん細胞に有意な細胞毒性を示す (+)-pericosine Aや(-)-pericosine Eの世界で初めての全合成を達成し、それらの絶対構造を明らかにしました。さて、現在臨床現場で用いられる3種の糖尿病薬のうち、ミグリトールはアミノシュガー構造を持ち、アカルボースはカルバシユガーと通常の糖が3分子連結されたもの、ボグリボースがアミノ置換基を持つカルバシユガーであり、偽糖構造を有することで α -glucosidaseを阻害し、それが薬効に繋がっているという共通点があります。そこで、がん細胞への毒性が非常に小さかった pericosine Eの化学構造に基づいて、2つのカルバシユガー部分構造から成る様々な類縁体をデザインし、それらを化学合成しました。合成で得られた化合物について各種 glycosidase 阻害活性試験を実施した結果、それらの多くが有意な選択的 α -glucosidase阻害活性を示すことがわかりました。さらに明治薬科大学との共同研究において、最も活性の強かった化合物と α -glucosidaseとのドッキングシミュレーションをコンピュータで行い、酵素との強い相互作用において塩素原子上(図1緑色)の非共有電子対が重要な役割を担っていることを示しました(図1)。

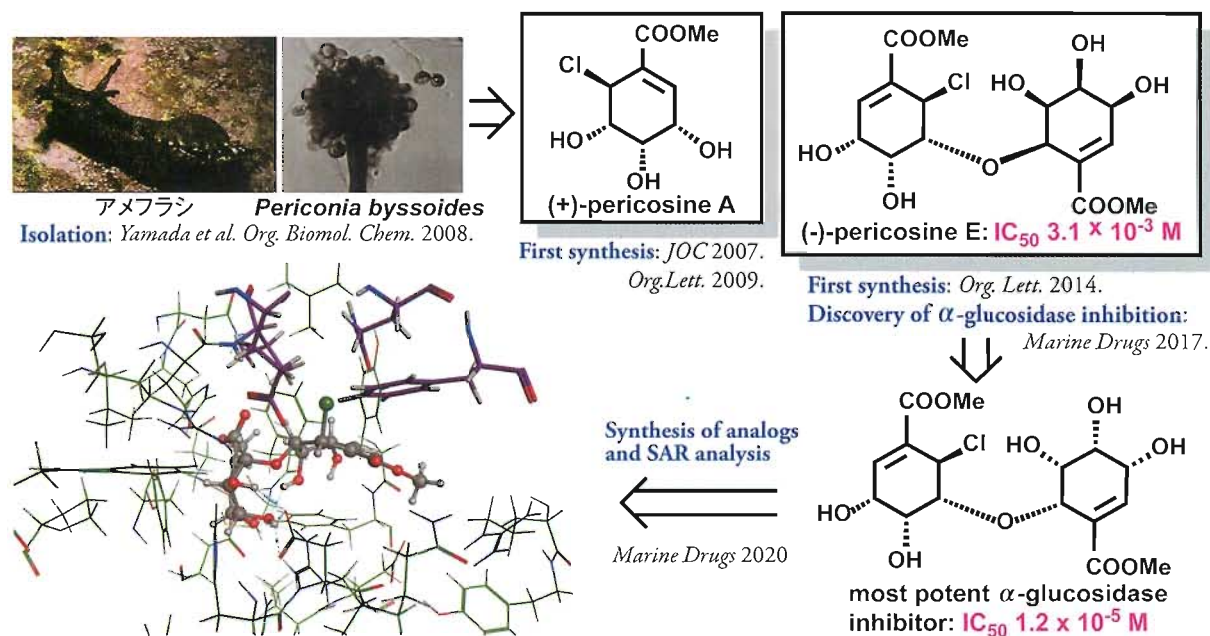


図1. 天然物を基盤とする創薬研究例(CG図は明治薬大・植沢教授グループ提供)

続いて紹介する新規合成反応の開発は、薬品合成化学研究室の流れを汲むものであり、春沢信哉前教授から米山助教へと受け継がれ、最近目覚ましい発展をみせている研究です。本学に大学院が設置されていなかった頃、春沢先生は名古屋市立大学の大学院生として塩入孝之教授のもとでジエチルリン酸シアニド (DEPC) の研究に従事されました。本学・薬品製造学教室の助手として戻られてからもしばらくこの研究を続けられました。その後、約30年の時を経て、現在の有機化学研究室立ち上げ頃に、当時所属していた大学院生や米山助教とともにこのテーマへの本格的な再挑戦を始めました。カルボニル化合物にDEPCを作用させて生成したシアノホスフェート (CP) は強力な電子吸引基を持つために、分子内の活性化されたシアノ基が緩和な条件下でアジド化合物と環化付加反応を起こしてテトラゾール環を形成し、ものによっては一気に2分子の脱窒素を伴って“アルキリデンカルベン”を与えます。2回生の有機化学2で“カルベン”という2本の結合手を持つ炭素反応種を学びますが、大変不安定で、逆に言うと極めて反応性が高いために、単離することはできないものの、図に示したように様々な反応形式を経て、安定で合成的価値の高い化合物へと変換することに成功しました (図2)。この分野での偉大な先達・Bestmannや前述の塩入先生は、彼らが独自に開発したアルキリデンカルベン発生法を用いる同様の反応を既に報告していますが、当研究室で開発された方法は、より緩和な反応条件、操作の簡便さ、収率、応用範囲



2019.4.13 撮影

など多くの点でこれらを大きく改善するものとなりました。

本年4月、武庫川女子大学より2019年度日本薬学会関西支部奨励賞を受賞された葉山登博士を当研究室の新しい助教としてお迎えしましたが、彼のオリジナルテーマも今後、当研究室の主力研究テーマとしてラインナップします。

私たちの研究室は、これまで明るく楽しいをモットーにしてきましたが、葉山先生加入に際して、厳しさも加えつつ、さらに高水準の研究を目指したい、研究を目指す学生を輩出したいと考えています。これに関連する昨年度の我が研究室のトピックとして、大学院生、学部生各1名の企業の研究職就職、学部生1名の大阪大学大学院博士課程進学が挙げられます。彼らが当研究室で産み出した研究成果は既に学術誌に掲載されています。研究志向をお持ちの方、興味のある方は歓迎しますので、是非、研究室を覗きにきてください。

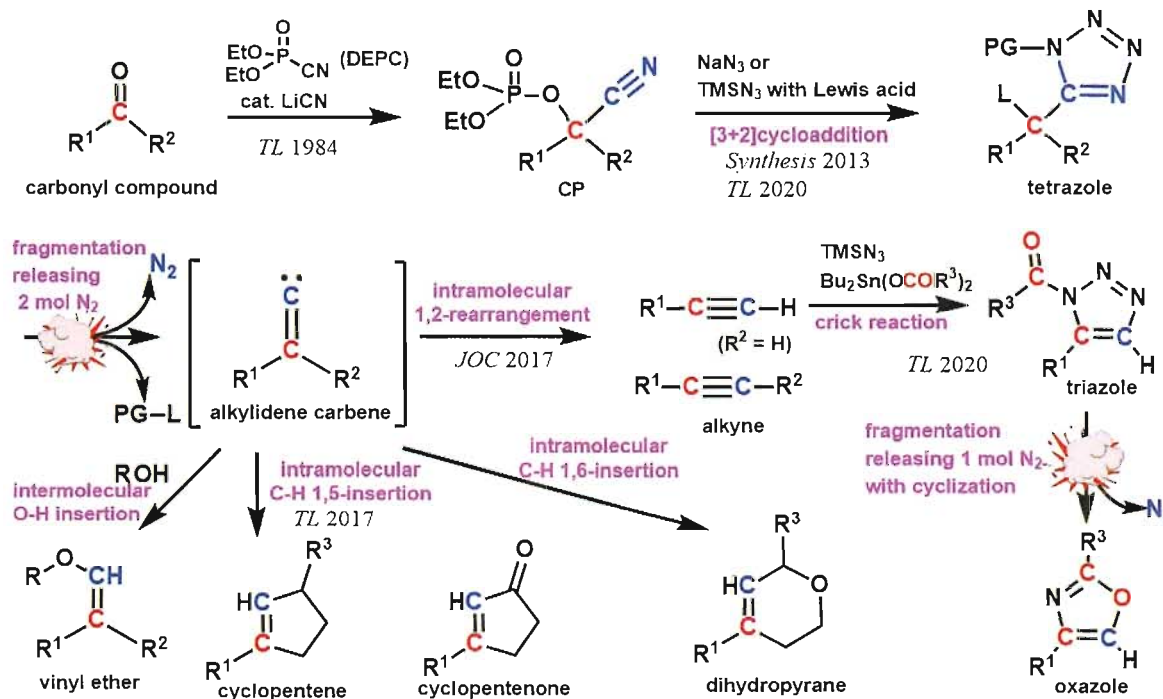


図2. DEPC由来のアルキリデンカルベンの発生とこれを利用する新規合成反応の開発

広域大学連携事業の活動状況

2020年2月27日、阪神鳴尾・武庫川女子大前駅の高架下に開設された武庫女ステーションキャンパスのレクチャールームにて、武庫川女子大学の瀬口和義学長ご臨席のもと、本学からは6名の学生が出席し、2019年度修了証書授与式が行われました。たまたま朝日放送のキャストが高架下特集として武庫女ステーションキャンパスの取材を行っており、授与式の様子も3月3日の放送で放送されたかもしれません(確認していません)。新型コロナウイルスの全国での感染者がまだ25人程度の時期でしたが、出席者全員マスクを着用し、授与式後に予定していた茶話会を中止して、用意していた軽食はテイクアウトで各自持ち帰りました。

大学間連携による臨床医工学・情報学高度人材育成事業では、武庫川女子大学、大阪電気通信大学、大阪薬科大学、藍野大学の4大学が、医療・福祉・工学・情報学など複数分野にわたる融合領域の人材を育成するために、「理系女性のキャリアパス設計論」、「多職種協働グループワーク実践論」、「地域活性化システム論」、「生命科学と倫理をめぐる知性と感性」、「プレプロフェッショナル教育」の5つのプログラムを用意していました。しかし、本年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、グループワークを中心とした講義を実施できなくなったため、「プレプロフェッショナル教育」のみの実施になってしまいました。しかも、「プレプロフェッショナル教育」の目玉でもあった実習は実施できず、オンライン授業だ

広域大学連携事業担当 井上 晴嗣(教授)

けになりました。昨年度までは、実習の定員がネックとなって本学の受講者を半数以下にまで抽選で減らさなければならなかったのが、オンライン講義のため希望者全員受講することができたことは不幸中の幸いでした。「プレプロフェッショナル教育」のオンライン講義は、前期に「臨床医工学入門」、後期に「医学・医療入門」が開講されます。「臨床医工学入門」では、本学から109名、大阪電気通信大学から17名、藍野大学から2名、大阪大学から4名、合計132名が受講しました。後期の「医学・医療入門」も本学から多くの学生が受講すると思いますが、本学は大阪医科大学との大学統合のため広域大学連携事業から来年度撤退するので、本年度が最後となり、他大学学生との交流やグループワークが最大の特徴であった広域大学連携事業がこのような形で終わってしまうことを大変残念に思います。



学校法人大阪医科薬科大学のシンボルマーク決定

法人シンボルマークの募集について、28名から47作品の応募があり、慎重に選考を進めた結果、2020年8月4日(火)開催の理事会において、以下のとおりシンボルマークが決定しました。(敬称略)

【最優秀賞】

高槻高等学校 教諭 大辻 英弘

作品説明:

人に寄り添う「まごころ」と「向上」のベクトルがテーマです。

中央の「O」は大阪の頭文字ですが、ヒトのハートそのもの、生命の躍動を表しています。医科薬科大学の英文頭文字「MPU」は、その基盤的位置に配しました。



【優秀賞】

大阪医科大学 医学部

國井 翼

大阪薬科大学 大学院薬学研究科

柏木 翔和

【佳作】

大阪薬科大学 総務課

山田 久美子

■ 薬剤師国家試験について

薬剤師国家試験対策委員長 大喜多 守(教授)

第105回薬剤師国家試験が2月22、23日に行われ、全国で新卒9,194名、既卒4,804名、その他313名の受験者が挑みました。全体の合格率は7割を下回り、出題された問題の難易度が高かったことが考えられます。また私立大学新卒者の平均合格率が84.05%であったのに対し、本学新卒者の合格率は、90.07%、全国私立大学56校中17位と前年度の成績(合格率:82.10%、順位:34位)を大きく上回る結果となりました。これも前委員長の岩永先生、国家試験対

策委員の先生方のご尽力とともに、何よりも卒業生の皆さまが日々の国家試験対策に真剣に取り組んだ賜物と言えるでしょう。今年度は感染症の問題からこれまでとは異なった国家試験対策を実施せざるを得ない状況ではありますが、そのような状況下だからこそ個々の学生が「国家試験に必ず合格する」という強い意志を持ち、また来春には卒業生全員が栄冠を勝ち取れるよう全学をあげて学生を支援していく所存です。

第105回薬剤師国家試験結果

区分		受験者 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)	私立全国平均(%) 私立全国順位
6年制 新卒	男	94	84	89.36	84.05 17位/56校
	女	178	161	90.45	
	計	272	245	90.07	
6年制 既卒	男	87	28	60.92	42.62 4位/56校
	女		25		
	計		53		
総合		360	298	82.78	68.54 12位/56校

2020年2月22日・23日施行



備忘録

※新型コロナウイルスの感染症の影響による主な措置

- 令和元（2019）年度学位記授与式、令和2（2020）年度入学式は中止
- 2020年3月3日から5月24日までの間、休校
(4/7～5/21までの間、大阪府は緊急事態宣言下にあった)
- 5月11日より前期授業をオンデマンド形式で開始
- 6月22日より前期実習・演習を少人数クラス編成で開始
- 8月11日より前期定期試験をオンライン試験、レポート課題で実施

応援隊長だいやくんの

大薬の足跡を追いかける！

松原校舎編【後編】：大阪薬科大学誕生

【前回までの経緯】

明治37(1904)年に道修町に誕生した大阪道修薬学校は、その後、南久太郎町、伝光寺の仮校舎、阿部野校舎を経て守口校舎へ移転しました。移転後は道修女子薬学専門学校から帝国女子薬学専門学校と名称を変更し、昭和7(1932)年10月には大阪府南河内郡北八下村大字河合504番地(現在の大阪府松原市河合2-10-65)へと移転します。昭和16(1941)に突入した太平洋戦争の戦禍の下では、学校教育も全面的に戦争に奉仕する体制となり、帝国女子薬学専門学校の女子生徒たちも訓練や勤労奉仕を強いられました。

戦後の混乱

昭和20(1945)年8月15日、多くの尊い命を犠牲にした太平洋戦争が敗戦というかたちで終わりを告げました。

戦争に敗れ、無条件降伏した日本は連合国軍の占領下に置られました。アメリカやイギリスの軍人や民間人で組織された連合国軍最高司令官総司令部(通称GHQ)が東京に設置され、ポツダム宣言の執行のため、農地解放や教育の民主化、政教分離を図る神道指令などの政策を強いられました。様々な政策の中でもGHQが特に力を入れたのは教育の改革でした。



野崎仙太郎氏

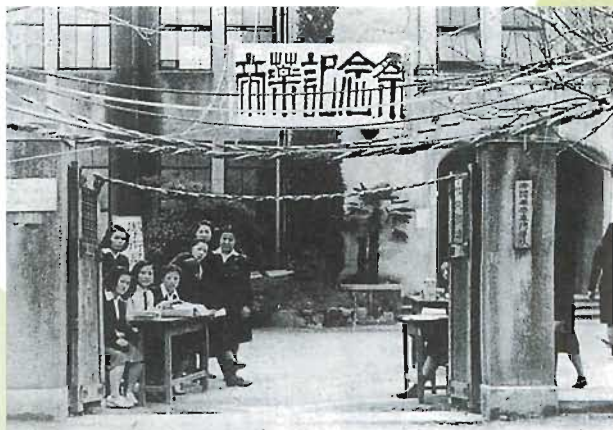
昭和21(1946)年5月、文部省勅令で「教職員の除去、就職禁止及び復職等の件」が公布され(一般的に「教職追放令」と呼ばれる)、これに伴って全国の小中学校教員や大学教授を対象に不適格な教員の排除が行われた結果、明治45年から35年もの間、校長職に君臨し続けた野崎仙太郎校長が不適格者と判定され、昭和22(1947)年4月に本学

を去ることとなりました。不適格者とされた理由として、「日本の戦争を肯定する者」「積極的に戦争に加担した者」「戦後の自由と民主主義を受け入れない者」のどれに抵触したのかは定かではありませんが、本学80年史には「戦時下に陸軍特別大演習の野外統監部に指定されたり、賀陽宮殿下の台臨を仰いだりというように、学校長として積極的に国策に従った責任を問われたのではないかと」記載があります。

ちなみに、適格検査によって全国で2,623人が不適格者と判定され、教職を追われたとのことです。

昭和22(1947)年3月に「教育基本法」、「学校教育法」が公布され、大学は新学制(小学校6年、中学校3年、高等学校3年、大学4年)への移行が昭和24(1949)年度から予定されていたため、本学もこの学制改革に促され、石黒武雄校長事務取扱を中心として大学基準協会が定めた「大学基準」に適用新制大学へと昇格の準備を進めることとなりました。

しかし、昭和23(1948)年7月に大学設置認可申請をしたものの、昭和24(1949)2月に「認可し難い」との通知を受け、昭和24年度昇格が絶望的になりました。この後、大学昇格への望みは薄く大阪市への移管を図ろうとする経営陣と1年遅れでも昭和25(1950)年度昇格を目指そうとする幹部とが対立しましたが、大阪市移管の公算が極めて薄かったこともあり、取り敢えず昭和24年度は男女共学制の帝国薬学専門学校へ移行し、大学昇格に備えることとしました。



帝国薬学専門学校(昭和24(1949)年)

松原(高見の塚)校舎正門の
壁面にはめ込まれていた門楹
今井淑吉 書

大阪薬科大学
大阪薬科大学大学院



かくて、昭和24年9月10日には無事に設置認可申請書を提出し、昭和25年2月20日認可指令書を受け取ることとなりました。



認可申請書表紙



やっとの思いで
設置認可が
おりましたね♪

大阪薬科大学の誕生



松野俊雄氏

昭和25(1950)年4月1日、帝国薬学専門学校は収容定員480名(入学定員120名)、修業年限4年、入学資格は高等学校卒業業者とする「大阪薬科大学」として第1歩を踏み出しました。新制大学の初代校長には松野俊雄氏が就任し、同年5月1日には第1回入学式が執り行われ、144名の第1期生が入学しました。

翌昭和26(1951)年には法人も財団法人から学校法人へ組

織変更し、「学校法人大阪薬科大学」として新しい歴史の幕を開けることとなりました。なお、昭和24(1959)年度に男女共学制で修業期間3年としてスタートを切った帝国薬学専門学校は、昭和24年度に1回だけ入学生を受け入れたのみで昭和27(1952)年11月30日を以て廃校となりました*。

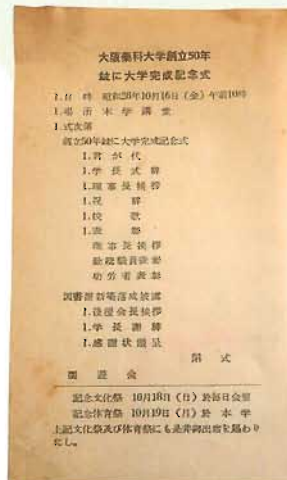
昭和28(1953)年、第1期生として入学した学生が4年生となり、教員組織やカリキュラムも落ち着きを見せていた9月、図書館が新築落成され、教学・設備両面の基盤が確立しました。また、この年は創立50周年の節目にもあたり、10月16日に「創立50周年並びに大学完成記念式」が盛大に執り行われました。

*3年制であるのに廃校までに3年半強の期間があるのは、病気の学生の回復を待つ卒業試験を実施したため。



大阪薬科大学と帝国薬学専門学校が併置されていたことを示す貴重な校門の看板(昭和26年(1951)頃)

新築落成された図書館



創立50周年記念式典式次第

当時の学費は
年額1万5千円
だったんだって!



今、乾坤の曉け初めて

松原キャンパスでの大阪薬科大学学歌の唄い始めの歌詞は「今乾坤の曉け初めて河内が原に光満てり」となっています。「乾坤」とは天と地を指し、夜明けを迎え、天と地の間から光が満ち溢れて河内が原(松原キャンパスのある地)に差し込んで来ている…といった解釈ができ、夢や希望を連想させます。歌詞に導かれるように、大阪薬科大学は松原の地で成長、発展を遂げていきます。

大阪薬科大学は薬剤師の資格取得を主たる目的としていましたが、戦後に一般大学において積極的に教職養成が行われたこともあり、昭和29(1954)年に教職養成課程を設置し、第2回卒業生より所定の単位を取得した者に対して理科及び保健の免許状が与えられることになりました(昭和51年度を以て廃止)。

昭和43(1968)年には薬学科、製薬学科の2学科制に改組、

昭和50(1975)年には大学院薬学研究科薬学専攻修士課程、昭和59(1984)年には大学院薬学研究科薬学専攻博士課程を設置します。

昭和7(1932)年に移転を果たして以来60年余り、松原の地で施設の充実、カリキュラムの充実と教育の基盤を固め、確実に発展を遂げていった大阪薬科大学でしたが、キャンパスの狭隘化と老朽化、また大学のさらなる発展を目指し、昭和時代終わり頃から移転候補地を求めて東奔西走することとなります。しかし、なかなか良い土地に巡り会うことができませんでした。松原の地での再開発も含めて検討

を重ねていたところ、住宅都市整備公団と高槻市が開発中であった高槻市の阿武山地区に適当な候補地が見つかり、平成3(1991)年に土地購入契約を締結し、大阪薬科大学は高槻市への移転を進めていくこととなりました。



高槻キャンパス完成予想図

■ 震災を乗り越えて

平成6(1994)年には、創立90周年を記念し、地域社会との連携を強化することを目的に第1回大阪薬科大学市民講座が開催されました。市民講座は高槻キャンパスへ移転してからも継続され、現在では48回を数えるまでとなりました。

平成8(1996)年の移転を目指し、着々と準備が進められていく中、平成7(1995)年1月17日、阪神淡路大震災という未曾有の巨大地震が阪神地区を襲いました。携帯電話が普及していない時代に全学生の安否が確認できるまで1週間の時間を要しました。キャンパスへのダメージは建物に一部亀裂が入る程度で済みましたが、学生の心のケアや経済的支援、学業支援等、移転という一大プロジェクトを目前に控えた大学にとって多難な時期となりました。それでも歩みを止めるわけにはいきません。大学は同年5月に移転委員会を発足させ、綿密な移転スケジュールのもと翌3月の高槻への全面移転に向け、教職員が一丸となって突き進んで行くのでした。

こうして平成8年(1996)年4月、大阪薬科大学は高槻市奈佐原へ全面移転を果たし、更に大きく飛躍するのです。

以下、次号に続く。

■ 松原時代(戦後)の年表

昭和20(1945) 8月	敗戦
昭和22(1947) 4月	野崎仙太郎校長退任
昭和24(1949) 5月	男女共学に移行し、校名を帝国薬学専門学校とする
昭和24(1949) 9月	大学設置認可申請提出
昭和25(1950) 2月	設置認可
昭和25(1950) 3月	財団法人から学校法人に組織替え
昭和26(1951) 4月	修業年限3年制に変更
昭和27(1952) 11月	帝国薬学専門学校廃校
昭和28(1953) 10月	創立50周年記念式典並びに大学完成記念式挙行
昭和43(1968) 4月	薬学科、製薬学科の2学科制に改組
昭和50(1975) 4月	大学院薬学研究科修士課程を設置
昭和59(1984) 4月	大学院薬学研究科博士課程を設置

松原校舎
64年間ありがとう!!



2020年度前期の新型コロナウイルス感染防止の対応

●学部

- 授業については、4月7日(火)に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が発令され、原則、前期の授業はすべての科目をインターネット配信によるオンデマンド形式で5月11日(月)から実施しました。
- 実習・演習については、5月25日(月)に「緊急事態宣言」の解除がなされたことを受け、学内施設、通学バス等の3密を防ぐために午前と午後に分散し、これまでの4クラスから6クラス編成(但し、「情報科学演習」は7クラス)とし、2・3年次生は6月15日(月)、1・4年次生は6月22日(月)から、感染防止対策(アルコール消毒液の全室設置、使用教室・実習室の消毒作業の実施、対人距離の確

保、手洗いの徹底、マスクの着用等)を十分に行った上、実施しました。

- 特別演習・実習については、上記の実習・演習の実施と同様に感染防止対策を十分に行った上、6年次生は6月1日(月)、実務実習に参加していない5年次生は6月8日(月)より研究室活動を再開しました。4年次生は当面、研究室での活動は自粛としました。なお、4~6年次生の研究室のセミナーはオンライン方式で実施しました。

●大学院

5月25日(月)より登校を許可しました。授業については6月15日(月)以降に対面授業で実施しました。

FD委員会活動報告

本年度のFD研修会(教育業務研修会)は、新型コロナウイルスによる情勢を鑑みて、感染症防止のために実習等を行う際の授業手法の工夫等について理解を深めていただくことを目的として、本学の感染制御学研究室の駒野教授、学生

課及び健康管理支援室の職員により、「新型コロナウイルス感染症に関する一般論、本学の対策等について」をテーマにオンデマンド配信による研修会を行いました。

2019年度学位授与

【博士】

論文博士
博士(薬科学) 論博薬科第79号 船井 達也
DNA polymeraseによる金属錯体型塩基対の形成に関する研究

課程博士
博士(薬学) 博薬第35号 川上 智也
重炭酸イオンがマクロファージの炎症応答に及ぼす影響に関する研究

博士(薬学) 博薬第36号 橋本 良太
多剤併用高齢者に対する薬剤師の関与に関する研究

博士(薬学) 博薬第37号 北廣 優実
漢方薬物治療の効果向上を指向した生薬の「薬能」と「品質」に関する科学的評価

博士(薬学) 博薬第38号 藤森 美季
食品添加剤の会合体形性能を利用した難溶性化合物の溶解性改善に関する研究

【修士】

修士(薬科学)
男子2名 計2名

【学士】

学士(薬学)
男子98名 女子180名
計278名

学士(薬科学)
女子2名 計2名

2020年度学位授与

【博士】

論文博士
博士(薬科学) 論博薬科第80号 鑄物 将明
難水溶性薬物ナノ粒子のin vitro評価法構築と吸収性向上効果に関する研究



学生相談室だより

■心身のSOSサイン、早めに気づいて対処しましょう

学生相談室 相談員 若林 暁子

皆さん、いかがお過ごしでしょうか？新型コロナウイルス感染症の影響を受けて3月中旬から休校措置がとられ、学生相談室も閉室しておりましたが、5月中旬より電話相談を、6月中旬より対面相談を再開しております。この学報が発行される時期には、またどのような状況になっているか想像がつかないところもあるのですが…。穏やかな日常が送れていることを願うばかりです。

新入生の皆さんには、例年ですと4月のガイダンスで直接お会いして学生相談室の紹介をさせていただいているのですが、今年は叶わず、寂しく思っております。遠方より入学され、初めての一人暮らしを経験されている皆さん、周りに誰も知り合いがない、実家に帰省することもできないといった状況のなか、心細く不安な日々を過ごされていたのではないのでしょうか。在学生の皆さんにとっても、初めてのオンデマンド授業、クラブ活動や研究活動の制限、アルバイトや外出の自粛など、これまで経験したことのない事態に戸惑いと不安があったと思います。就職活動や卒業研究、国家試験の準備の最中にある6回生の皆さんからも多くの不安の声が聞こえてきます。教職員の皆様や保護者の皆様の中にも、大変な思いをされている方が多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

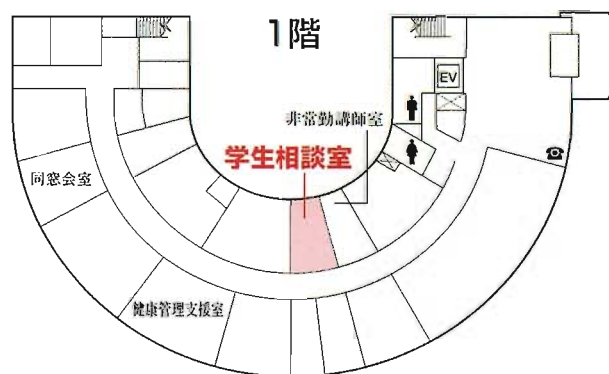
先行きが見えず、この先どうなっていくのだろうという不安、自身や家族が感染してしまうのではないかという恐怖、孤立感や焦りなどは、危機的状況における当然の心理的反応といえますが、さまざまな感情を経験し、心理的な負担が過度になると心身にも影響が現れてきます。自分自身の心や身体の状態に耳を澄ませ、ストレス蓄積のサインが出ている場合は早めに休息をとり、バランスの良い食事や規則正しい生活、たっぷりの睡眠を心掛けるようにしましょう。周囲の人たちにサポートを求めることを躊躇しないことも大切です。外出や外食を自粛する生活においては気分転換も難しいと思いますが、メールやビデオ通話等を用いて人とのつながりを保つこと、人の少ない時間帯や場所で身体を動かすこと、正確な情報や知識を得ることなどはメンタルヘルスの維持・向上に有効です。これを機に、新たなストレス対処法・気分転換法を開拓してみるのもいかがでしょうか。

皆さんの学生生活を応援するサポーターの一員として、学生相談室のこともぜひ覚えておいてください。専門の相

談員（公認心理師/臨床心理士）が相談内容に応じてきめ細やかな支援をおこなっています。相談内容が外部に漏れることはありません。例年、多くの学生、保護者、教職員の方々に利用していただいております。困ったときや疲れたときに安心・安全な場所で話をすることでホッと一息つけて心が少し軽くなる、一緒に解決法を考えることで元気が湧いてくる、そういう存在であれたら嬉しいです。相談員一同、ご利用をお待ちしております。

学生相談室

本学では、A棟1階に学生相談室を設け、週に3回、カウンセラー（公認心理師/臨床心理士）が相談を受け付け、学生が抱える問題や悩みに対処しています。保護者からの相談も可能です。



若林 暁子



西田 裕子

受付時間

【毎週火曜日】 12:00-16:00 若林 暁子
 【毎週木曜日】 12:00-16:00 若林 暁子 or 西田 裕子
 【毎週金曜日】 14:00-18:00 西田 裕子

問合せ

TEL:072-690-1077(直通)
 e-mail:counsel@gly.oups.ac.jp



キャリアサポート課だより

2019年度就職・進学状況

2019年度薬学部薬学科(6年制)卒業生の進路について報告します。本学の就職・進学状況は今年も堅調に推移しており、5月1日時点での就職・進学率は95.3%となりました。2019年度卒業生のうち進路が決定した262名の内訳としては、企業19.1%、病院(研修生を含む)25.5%、薬局47.3%、公務員5.0%、大学院進学3.1%でした。学生の進路傾向は年度ごとに若干異なりますが、前年度と比べると企業と病院への内定率が若干増加しています。

2019年度就職・進学状況

(2020年5月1日)

業種	人数(名)	割合	確定者の内訳
企業	50	18.2%	19.1%
病院	67	24.4%	25.5%
薬局	124	45.1%	47.3%
公務員	13	4.7%	5.0%
進学	8	2.9%	3.1%
(進路確定者合計)	262	95.3%	100.0%
未確定	3	1.1%	(262名)
内定取消	9	3.3%	
内定辞退	1	0.4%	
合計	275	100.0%	

※就職を希望しない3名を除いています。
 ※病院には病院研修生1名を含めています。
 ※内定取消・内定辞退は国試結果によるものです。

キャリア支援について

2021年卒を対象とした就職活動は、新型コロナウイルス感染症の影響で、例年とは異なる様相を呈しています。説明会や面接などをオンラインで実施する団体が増え、今後もその傾向は続くと考えられますので、それに対する対策も必要となっています。

キャリアサポート課では、外出自粛の期間以降もメールや電話での対応や、オンラインでの面談を実施しています。主に就職学年の6年次生を優先していますが、5年次生もメールでの添削やオンラインでの面談を利用できますので、お問合せください。

5月実施のキャリア支援では、学生が広い視野を持って自分の将来を考えられるよう、主に5年次生を対象として病院選びについての講座、インターンシップの準備講座、公務員講座などをオンラインで開催しました。自宅から気軽に参加できることもあり、例年より参加者が増えています。

今後も時代の変化に対応できるよう、学生の希望進路に応じて各種企画や支援プログラムを実施していきたいと考えています。

9月16日・17日の3薬科大学合同業界研究セミナー【オンラインLIVE形式】

この度、3薬科大学(京都薬科大学、神戸薬科大学、大阪薬科大学)で合同業界研究セミナー(オンライン形式)を開催しました。企業と病院合わせて約40団体に協力いただきました。

日時：9月16日(水)、17日(木) 10:00~17:00(両日とも)
 会場：特設バーチャル会場

4月6日・7日 オンライン病院合同説明会報告

2月20日(木)、求人や職種に関する情報提供を目的とした学内合同セミナー(全学年対象)を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期となりました。

その後、感染拡大が収束しない状況の中、思うように就職活動を進められなくて不安を感じている学生のために説明会を開催できないか検討した結果、4月6日、7日の2日間にわたり、病院を対象にオンラインでの合同説明会を開催することになりました。

当初参加を予定していた病院に依頼したところ、急な依頼にもかかわらず38病院が参加していただくことになりました。1病院につき説明と質疑応答で20分間とする形式でそれぞれの病院での仕事内容や働き方を学生に紹介することができました。

本学の学生の他、京都薬科大学や神戸薬科大学とも連携し、両大学の6年次生を含めた登録者は345名となり、各病院への訪問延べ人数は約2,400名になりました。

本学の学生有志によるオンライン開催の運営協力もあり、短い準備期間の中で無事に終えることができました。外出自粛の中、学生にとっては、自宅から多くの病院を比較検討できる、大変有意義な説明会となりました。ご参加、ご協力いただきました各方面の方々に改めて御礼申し上げます。

オンライン病院合同説明会

日時：2020年4月6日(月)、7日(火)
 13:00~16:30

全学年
 対象

Webオープンキャンパス 報告

3月と6月に開催予定であったオープンキャンパスは新型コロナウイルス感染拡大防止と参加者の安全確保のため、残念ながら中止しました。

受験生の方々は学校の休校や進学相談会の中止等により、進路選択に必要な情報を得る機会が減っています。

そこで、8月2日(日)・8月23日(日)にZoomのアプリを用いた、「Web進学相談会」を開催しました。

例年とは異なる形式ではありましたが、参加者と1対1でコミュニケーションをとることができ、聞きたいことを聞くことができ良かったと好評でした。

また現在、大学ホームページでは「Webオープンキャンパス」として、学長から受験生に向けたメッセージ、2021年度入試概要や大学紹介を動画で紹介しています。もし、本学を受験しようかと考えておられる方が皆さんの近くにおりましたら、ぜひ、大学ホームページから各種動画を見ていただくことをおすすめしてください。

「Web進学相談会」以外でも、平日の9時から17時までの間、入試課では電話での質問も受け付けていますので、質問があればご連絡してください。



2020年度実務実習生白衣授与式について

2020年2月18日(火)午前10時より、本学講堂にて病院・薬局実務実習に赴く学生を対象に白衣授与式を開催しました。



2019年度実務実習伝達・報告会について

2020年2月18日(火)午後1時より、令和元年度に実務実習を行った学生の「実務実習伝達・報告会」を本学体育館にて行いました。



2019年度大阪薬科大学研究振興基金助成について

2019年度 教育・研究振興基金優秀論文賞は、若手専任教員が本学で行った研究成果の中で、特に優れた研究論文を発表した者を顕彰し、更なる研究活動の発展を支援することを目的としたものです。2019年度は下記の3名が選ばれ、研究助成金が贈呈されました。

氏名	論題	雑誌名
米山 弘樹 (有機薬化学研究室 助教)	Efficient Synthesis of a 5 α -Reductase Inhibitor, 3-(Tetrazol-5-yl)-3,5-pregnadien-20-one through Allylic Rearrangement of Cyanophosphates	Synthesis
菊地 崇 (医薬分子化学研究室 助教)	Strophasterols E and F:Rearranged ergostane-type sterols from Pleurotus eryngii	Bioorganic Chemistry
小池 敦資 (病態生化学研究室 助教)	Pan-caspase inhibitors induce necroptosis via ROS-mediated activation of mixed lineage kinase domain-like prtein and p38 in classically activated macrophages.	Experimental Cell Research

※職位は受賞当時に記載しています。

■研究助成金採択一覧

〈2019年度〉(前号掲載分以降)

※所属研究室、職位は受賞当時で記載しています。

研究助成機関	採択者	採択テーマ
粉体工学情報センター	内山 博雅 助教(製剤設計学研究室)	噴霧乾燥条件が機能性食品成分間での非晶質複合体形成に及ぼす影響
公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団	東 剛志 助教 (衛生化学研究室[旧 環境分子生理学研究室])	医療機関の排水を対象にした高度水処理技術の有効性評価
公益財団法人医療科学研究所	庄司 雅紀 助教(社会薬学・薬局管理学研究室)	薬局における認知行動療法を基盤としたうつ病患者支援の費用対効果の検証
第一三共株式会社	林 哲也 教授(循環病態治療学研究室)	抗がん薬投与により発症する急性・晩期心筋障害の病態解析並びにその治療戦略
公益財団法人ホソカワ粉体工学振興財団	野上 聡(大学院学生)(製剤設計学研究室)	pH応答性コロイド分散系のテクスチャと薬物溶出制御

〈2020年度〉

※2020年6月現在

研究助成機関	採択者	採択テーマ
粉体工学情報センター	門田 和紀 准教授(製剤設計学研究室)	凍結噴霧乾燥による非加熱プロセスを利用した機能性食品粉体の設計
公益財団法人政策医療振興財団	庄司 雅紀 助教(社会薬学・薬局管理学研究室)	薬局における栄養士・薬剤師の協働による2型糖尿病患者の支援に関する研究

■2020年度科研費採択者一覧

(単位:千円)

	氏名	職名	応募種目	研究課題	直接経費	間接経費
新規	奥平 桂一郎	教授	基盤研究(B)	動脈硬化治療法の確立に向けたHDLリモデリングの分子基盤の解明とその応用	4,100	1,230
	東 剛志	助教	基盤研究(B)	病院排水に由来する多剤薬剤耐性菌の不活化技術の開発と有効性評価	4,300	1,290
	永井 純也	教授	基盤研究(C)	アルブミン曝露による尿細管PGE2生成機構とHIF-1誘発腎線維化との関連解析	1,200	360
	中村 任	教授	基盤研究(C)	プラチナ系抗癌剤によるバイオメタル関連タンパク質の生体内分布変動解析	1,100	330
	藤森 功	教授	基盤研究(C)	エイコサノイドとその代謝物による肥満制御機構の解明	1,500	450
	門田 和紀	准教授	基盤研究(C)	吸入粉末剤プラットフォームの構築によるプレジジョンメディシンの実現化	1,100	330
	長谷井 友尋	准教授	基盤研究(C)	miRNAを用いた大気粉塵のエピジェネティクス誘発活性の季節変動及び地域特性	900	270
	平田 雅彦	講師	基盤研究(C)	ミトコンドリア複合体IIを標的としたがん幹細胞フマル酸呼吸イメージング薬剤の開発	1,500	450
	内山 博雅	助教	基盤研究(C)	コアモルファス形成に基づいた難溶性/難吸収性中分子医薬品の創薬戦略の構築	1,200	360
孫 紅昕	特別研究員	若手研究	ヒト脂肪幹細胞における膜動輸送特性解析と細胞医薬・薬物キャリアとしての最適化	1,700	510	
継続	天満 敬	教授	基盤研究(B)	CAR-T療法と微小環境標的の内用放射線療法の融合によるがん治療革新研究	2,600	780
	スミス 朋子	教授	基盤研究(C)	薬学系英語教育における授業モデルの構築:専門語彙・読解教材の開発と効果の検証	300	90
	城下 賢一	准教授	基盤研究(C)	ポスト55年体制における圧力団体・農協の政治活動の内在的・総体的把握	800	240
	平野 智也	教授	基盤研究(C)	生体内分子応答型光分解性保護基を基盤とする中枢神経系の解析・治療システムの構築	1,100	330
	戸塚 裕一	教授	基盤研究(C)	機能性有機ナノコンポジット構造の解明とハイブリット化への戦略的構築	900	270
	加藤 隆児	准教授	基盤研究(C)	インフラマソーム反応に着目した特異体質性薬物性肝障害の機序解明と評価法の開発	1,000	300
	細畑 圭子	准教授	基盤研究(C)	食塩感受性高血圧における慢性腎臓病の早期バイオマーカーの臨床展開と機序解明	1,000	300
	浦田 秀仁	教授	基盤研究(C)	プロドラッグ型siRNAを用いたホモ接合体家族性高コレステロール血症治療薬の開発	1,100	330
	福永 理己郎	教授	基盤研究(C)	がん細胞の翻訳制御におけるMnk経路とmTOR経路のクロストーク機構の解明	800	240
	竹林 裕美子	助教	基盤研究(C)	脂肪幹細胞における薬物輸送解析と腎保護能を有する新規細胞医薬の開発にむけた最適化	1,200	360
	当麻 成人	准教授	基盤研究(C)	高齢者の転倒予防のための新規転倒回避テストの開発	600	180
	藤井 俊裕	助教	若手研究(B)	新規の活性化機序のリン脂質スクランブラーゼの同定と機能解析	800	240
	角山 香織	准教授	若手研究	Real world dataを活用した副作用モニタリング支援システムの基盤構築	1,200	360
	田中 早織	助教	若手研究	小腸上皮細胞の脂肪再合成酵素及びイオン輸送体系に着目した脂質異常症発症機序の解明	1,400	420
	清水 佐紀	助教	若手研究	過分極作動性HCN1チャンネルを介したてんかん発症の調節メカニズム解析	1,100	330
	内田 まやこ	講師	若手研究	ペンダムスチン投与患者における皮膚障害の発現因子解明と予防法確立	600	180
	近藤 直哉	助教	若手研究	架橋安定化を基盤とするペプチドプローブの動態最適化と高感度イメージング手法の構築	1,100	330
					36,200	10,860

※2020年5月現在

がっつき たかつき

Takatsuki News

高槻のええとこ
見せます 魅せます



大阪薬科大学のお膝元 「富田」にがっつきました！

★「富田」の地名は、律令制以前の天皇家の御料田を意味する「屯田(とんでん)」が由来とされている。

我が大阪薬科大学の最寄り駅といえば、JR「摂津富田」駅もしくは阪急「富田」駅になります。皆さんの中の「富田」のイメージはどのようなものでしょうか。恐らく「これといって特徴のない町」(ちょっと失礼かも?)という答えが返ってくるのではないのでしょうか。

少し話が逸れますが、日常的に「とんだ勘違いだった」や「とんだ苦勞をした」といった会話をすることがあります。この場合の「とんだ」は「意外にも」「思いがけない」といった意味合いになります。前述の「これといって特徴のない町」といった「富田」のイメージこそ、「とんだ勘違い」なのです。富田界隈には歴史的建造物が多く点在しており、歴史上の重要人物にゆかりのある地でもあります。にもかかわらず、あまり有名ではなく、ちょっと勿体ない気がします。

今回は、大阪薬科大学のお膝元である「富田」にがついて、「富田」に対する「とんだ勘違い」のイメージを覆すくらい素敵な町であることを紹介したいと思います。



富田まち歩き MAP



- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| ① おみやげ処笹井屋 | ⑤ 蓮如上人御旧跡 | ⑨ 大宅壮一顕彰碑 |
| ② 壽酒造 | ⑥ 本照寺 | ⑩ 教行寺 |
| ③ 蓮如上人腰掛石 | ⑦ 普門寺 | ⑪ 清鶴酒造 |
| ④ 筒井池公園 | ⑧ 三輪神社 | |

踏切の向こうにロマンがある



普段、JR「摂津富田」駅、阪急「富田」駅を利用している方は阪急線の線路の向こう側（南側）へはあまり関心がないのではないのでしょうか。

実は、線路の向こう側が歴史の宝庫なのです。

魅力 その1 足利義栄(室町幕府第14代将軍)の居城があった!



富田には、普門寺という南北朝時代の明德1(1390)年に創建された名刹があります。普門寺は一時期荒廃していましたが、室町時代後期にNHK大河ドラマ「麒麟がくる」でもお馴染みの戦国大名・細川晴元を幽閉させるために城郭化されて「普門寺城」と呼ばれました。普門寺城の広さは約3万㎡もあり、周辺にある本照寺、三輪神社、筒井池も城郭の一部であったと思われます。

細川晴元は弱体化した将軍家に代わって34代管領として室町幕府の実権を握っていましたが、家臣の三好長慶の反乱によって没落していき、余生を普門寺城で過ごし、永禄6(1563)年に50歳で没しました。現在、普門寺の境内には細川晴元のお墓と伝わる宝篋印塔が建っています。

その後、永禄8(1565)年の永禄の変で室町幕府第13代将軍足利義輝が暗殺された後、義輝の従兄弟の足利義栄が次期将軍の座を目指して阿波の国から富田に入り、入京の機会を窺いましたが、その際に本拠地としたのが普門寺城でした。義栄は数々の難局を経てやっとの思いで永禄11(1568)年に第14代将軍に就任しましたが、背中に腫れ物を患っていたこともあって、一度も入京することができないまま普門寺城にとどまりました。同年、義栄は義輝の弟である足利義昭を擁して上洛した織田信長に敗れて勢力を失い、阿波の国に逃れた後、背中の腫れ物が悪化して病死しました。将軍としての就任期間はわずか7ヶ月という短命であり、室町幕府の歴代将軍の中でも影が薄い存在となっています。義栄が没してからの普門寺城がどうなったのかは今回知ることができませんでしたが、現在、城郭としての姿は失われ、普門寺境内の北西部分にある土塁が城の遺構として残るのみになっています。

普門寺

富田町4-10-10

- 臨済宗妙心寺派
- 本尊は釈迦如来と十一面千手観音
- 方丈は国の重要文化財



この空のどこかに
お城が見えたのかなあ

魅力 その2 蓮如上人(本願寺第8世)が布教の拠点とした町

富田は古くから寺内町として栄えました。京都や山城に近いこともあって浄土真宗にゆかりが深く、室町時代の文明8(1476)年頃に本願寺8世の蓮如上人が富田に寺院を建立し、「富田道場」として浄土真宗布教の拠点としました。ここを中心として門徒たちによって寺内町が形成され発展していきましたが、天文1(1532)年の一向宗(浄土真宗)弾圧によって道場や門徒たちの家が焼き払われてしまいました(享禄・天文の乱)。その後、天文5(1536)年に教行寺として再建され、再び寺内町として発展を遂げました。また、富田には戦国時代から江戸時代にかけて北東部に「東岡宿」という町場があり、周囲には土塁と池が巡り、北・南・西の主要な出入り口には門が構えられていました。

このように、富田は寺内町と宿場町の2つの機能を持ち合わせた町として発展していきました。富田が寺内町として発展した1つの理由に本願寺を後ろ盾にして課税の免除等の特権を得ていたことが挙げられます。これらの特権によって他の町



よりも有利に暮らすことができ、寺内町は発展していきました。しかし、文禄3(1594)年の太閤検地によってこれらの特権を失い、寺内町としての機能は廃れていき、また、宿場町としての機能は西国街道の整備によって芥川宿に客を奪われたため、次第に衰退していきました。

教行寺
富田町6-10-1
●真宗大谷派
●本尊は阿弥陀如来



晩年の蓮如上人が愛したとされる「築山紅梅」が境内にある。石碑には「蓮如上人御愛樹築山紅梅」と刻まれている。

蓮如上人の足跡

写真左: マンションの片隅にある「蓮如上人腰掛石」。蓮如上人は布教のため、何度も富田を訪れていたようでこの石に腰掛けて布教活動を行ったとされる

写真右: 筒井池公園南端にある「蓮如上人御旧跡」と刻まれた石碑。教行寺までの道標と思われる



魅力 その3 酒どころ富田

富田は池田・伊丹と共に「北摂三銘酒」と並び称されているお酒の名産地です。富田では文明3(1471)年頃から酒造りが始まりました。阿武山山系の石灰質を通して湧き出るミネラル豊富な中硬水、酒造りに適した良質な米(三島雄町)、加えて丹波・丹後からの農閑期の労働力に恵まれていました。

江戸時代に入ると富田は摂津一の酒造りの町として有名になり、明暦3(1657)年の最盛期には24軒もの造り酒屋があったといわれ、富田は寺内町から酒造りの町へと代わっていきました。その中心にいたのが清水市郎右衛門(屋号・紅屋)でした。清水家は関ヶ原の戦いの際に徳川軍に協力した功績で凶作の時でも酒造りが許されるなどの特権を江戸幕府から与えられていました。富田酒は下り酒(上方で生産され江戸へ輸送され消費された)として、馬で唐崎や三島江まで運ばれ、そこから淀川を下る水路で大坂へ送られて江戸に向かう船に積み込まれたようです。



江戸時代中期の元禄8(1695)年に発行された「本朝食鑑」(人々はどんなものを食べていたのか各地へ取材した見聞)には、「和州南都の造酒第一たり、しこうして摂州の伊丹・鴻池・池田・富田これに次ぐ」と書かれています。訳すると「奈良の諸白酒(白米と白麴で仕込んだ酒)が銘酒の中で一番で、伊丹、鴻池、池田、富田の摂津酒がこれに次いでいる」となります。また、元禄14(1701)年に刊行された「摂陽群談」(摂津の地誌)では「島上郡富田村に造之、所々の市店に出せり、香味勝て宜し」と富田酒が称されており、その頃には名を知られていたことがわかります。さらに、江戸時代の俳人・松尾芭蕉の弟子である宝井其角が富田を訪れた際に富田酒をテーマにして前後どちらから読んでも同じになる回文で俳句を詠みました。

※この句の中の「あやめ」とは紅屋の酒の銘柄です。

けさたんと
のめやあやめの
とんたさけ

宝井其角が詠んだ回文

このように一時期は名声を博したものの、江戸中期以降は池田・伊丹、灘・今津の酒造に押されて富田の酒造は衰退の一途を辿ります。紅屋も幕末には酒造りをやめてしまい、酒屋は徐々に減っていきました。現在では2軒の酒屋を残すのみとなりましたが、今でも井戸から汲み上げた地下水で伝統の酒造りを行っています。



清鶴酒造株式会社

富田町6-5-3

- 創釀1856(安政3)年
- 江戸時代の撰津地誌「撰陽群談」で「香味勝て宜し」といわれた銘酒「富田酒」の伝統を今に伝え続けている



壽酒造株式会社

富田町3-26-12

- 創釀1822(文政5)年
- 國乃長のブランドで日本酒、地ビール、焼酎、梅酒を醸造している

魅力 その4 日本を代表するジャーナリスト大宅壮一氏生誕の地

大宅壮一氏(明治33(1900)年～昭和45(1970)年)は日本を代表するジャーナリスト、ノンフィクション作家、評論家で三島郡富田村に生まれ、家業の醤油屋を手伝いながら少年期をこの地で過ごしました。没後久しいので、ご存知でない方も多いかと思いますが、現在でも何気なく使っている「恐妻」や「口コミ」などの造語を生み出した人物です。



大宅壮一顕彰碑

富田町6-20-10

2009年5月30日に生家近くのこの地に建てられた。石碑に刻まれた「美しいバラの花は野茨の根の上に咲く」という大宅氏が愛した言葉

魅力 その5 樹齢700年の「富寿栄の松」

本照寺は室町時代の応永34(1427)年に本願寺7世の存如によって創建されたお寺です。当初は光照寺と称されていましたが、正保3(1646)年に本願寺の一字を当てて本照寺とし、「富田御坊」の印を与えられました。かつては境内に東西35m、南北25mに枝を広げた「富寿栄(ふすえ)の松」と呼ばれる樹齢およそ700年のクロマツがありましたが、現在は枯死し、枝を支えた台座や松の根幹が残るのみになっています。

本照寺

富田町4-4-27

- 浄土真宗本願寺派
- 本尊は阿弥陀如来



写真左:本照寺正面 写真中:本堂の屋根が視界に飛び込んで来た時は、その大きさに圧倒されます
写真右:境内に残された富寿栄の松の根っこ。根っこだけでもすご大きい!

魅力 その6 酒造りの神様を祭る神社

普門寺に隣接して三輪神社があります。創建年代は不明ですが、大和国の三輪山(奈良県桜井市)の大神神社から大己貴命を祭神として勧請し、寛永16(1637)年に普門寺の龍溪禅師によって再興されたと伝えられ、一説には隣接する普門寺の鎮守社ともいわれています。酒造りの神様として知られ、江戸時代に酒造りで繁栄した富田の町の人々の信仰を集めました。境内には紅屋の寄進した鳥居が残っています。

緑が眩しい三輪神社



三輪神社
富田町4-14-14



魅力 その7 町のアンテナショップ

平成29(2017)年5月3日に富田のアンテナショップを目指し、「おみやげ処笹井屋」がオープンしました。

日本家屋をイメージした店内は木のぬくもりを感じる空間となっています。宮大工さんが手掛けたという天井を見上げると異空間にタイムスリップした感覚にとらわれます。



阪急富田駅から徒歩3分の抜群のアクセス

お酒が
いっぱい!



壽酒造と清鶴酒造のお酒を取り扱っています。



大人気の清鶴酒造の酒粕を使用した酒まんじゅうやゼリーのほか、お菓子、雑貨などのお土産がズラリ。



魅力 その8 富田焼

店内の一角には磁器の「富田焼」を紹介するスペースも。富田焼はいつ誰が始めたのかはわからないようですが、飛鳥時代には確かにあったとのこと。

時代の経過とともに忘れ去られていたものを歴史学者の天坊幸彦氏が大正14(1925)年に復興させ、以降、ご子息に引き継がれました。幸彦氏が富田焼を復興するに当たって「富田窯」を開き、今では「游騁窯」(ゆうていよう)とも呼ばれています。



現在は、幸彦氏のお孫さんの天坊昌彦氏が庸子夫人とともに個展や陶芸教室を開くなど、活躍されています。

游騁窯 富田町5-26-4



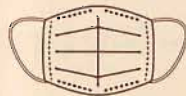
最後に
酒樽と一緒に
記念撮影♪



おみやげ処笹井屋
富田町3-7-2

【営業時間】10:00~19:00
【定休日】毎週月曜日

マスクの歴史



新型コロナウイルスの感染症拡大防止対策でマスクを着用することがもはや当たり前となってしまう2020年。マスクと言えば「白」が定番でしたが、最近では黒などのダークな色やパステルカラー、そして手作りのカラフルな模様のマスクまで、幅広いデザインが見受けられます。そこで、今回はマスクの歴史を探ってみました。



日本におけるマスクの歴史は明治初期に始まり、明治12(1879)年にそれまで輸入していたマスクを国内で生産するようになりました。当初はマスクを「呼吸器」と呼んでいたようです。大正時代に入ると「工場マスク」と呼ばれたマスクを炭鉱などで働く人が粉じんよけとして着用していました。工場マスクは真鍮製の金網を芯にして布地をフィルターとして取り付けていましたが、吐息によって錆びるなどの理由で一般には普及しなかったようです。その後、革製や高級品がステータスとなり、金属の芯はセルロイドに、フィルターは別珍へと改良されていきました。

大正7(1918)年には世界中でスペイン風邪が流行します。当時のポスターには「恐るべし！ハヤリカゼのバイキン！」「マスクをかけぬ命知らず！」と書かれ、黒いマスクを着用した人々が描かれています。世界中で2,000万人以上もの人が亡く

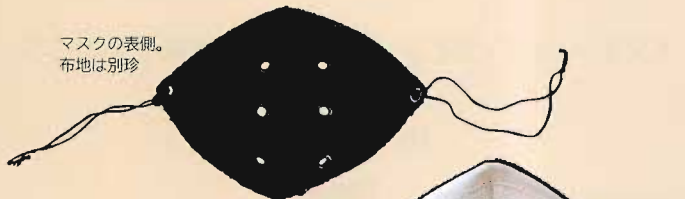
なったというスペイン風邪の流行によってマスクは注目され、需要がブームとなり供給が追いつかず、メーカーが乱立しました。こうしてマスクが徐々に一般にも普及して行きました。

大正12(1923)年には内山商店が商標登録品第1号となった「壽マスク」を発売し、1940年代には洗って繰り返し使えるガーゼマスクが一般化します。昭和48(1973)年にはフィルター性能の強い不織布プリーツ型マスクの原型が発売され、以降は立体マスクやウイルス、花粉をカットするマスクなど、様々なタイプのマスクが登場し、現在に至っています。



本学の資料室にも昔のマスクが保管されていたので、ここでご紹介したいと思います。マスクは大正時代に発展し、「壽マスク」以降、商標登録品が次々と発売されたようで、様々なネーミングのマスクがありました。

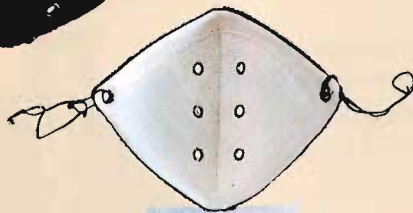
マスクの表側。
布地は別珍



「すみれマスク」の
パッケージ



マスクの裏側。6つの穴があり、
ガーゼを敷くようになっている



左列上から「ホシテーマスク」、「文化マスク」、
「トップマスク」、「エーワンマスク」、
右列上から「クイーンマスク」、「ゼネラルマスク」、
「すみれマスク」、「衛生マスク」

大薬にまつわるエトセトラ



蛇にまつわるエトセトラ ～薬学との関係に迫る～

皆さんは「蛇」と聞くとどんなイメージを描きますか？

「神聖なもの」と思う人もいるかも知れませんが、大半の人が「気持ち悪い」「怖い」「嫌い」といったマイナスイメージを抱いているのではないのでしょうか。

日本における蛇にまつわる言い伝えを確認すると、



- 蛇の抜け殻でお湯を使えば膚光沢を生ず
- 蛇脱の黒焼を油で練ってハゲ頭に塗らば毛髪を生ず
- 蛇の抜け殻を財布に入れておくとお金が貯まる
- 蛇卵や蛇脂が老女を若返らす



等々、縁起の良い言い伝えが多くあります。お正月に飾ったりする注連縄は神社にも飾ってあるように神祭神具のひとつで、神様をまつるのにふさわしい神聖な場所であることを示し、縄のねじれは蛇の交尾する姿だといわれています。

そして、蛇は薬学とも深い関係があったのです。

救急車に描かれた蛇

救急車をまじまじと観察することは、大人になってからはあまりやることではないかも知れませんが、小さい頃はバスや消防車や救急車、いわゆる「はたらくるま」に興味を持っていた方も多くいらっしゃるのではないでしょうか。

さて、救急車にこんなマークがついているのを見たことがありますか？(日本のすべての救急車についているわけではありません)このマークは杖に蛇が絡みついているもので「スター・オブ・ライフ」と呼ばれ、救急医療や人命救助に携わることへの誇りと使命感を象徴し、世界中で救急医療のシンボルマークとなっています。日本では救急車のほかに、ドクターヘリやライフセーバーが付けています。



「スター・オブ・ライフ」の6本の柱が意味するところ



アスクレピオスの杖

蛇が絡みついている杖は「アスクレピオスの杖」と呼ばれ、医療・医術の象徴として世界的に広く用いられているシンボルマークです。アスクレピオスはギリシア神話の太陽神・アポロンと人間のコロニスとの間に生まれた子で医学の神として崇められています。コロニスはアスクレピオスを妊娠中に夫のアポロンに殺されてしまいますが、そのお腹からアスクレピオスが取り上げられ、その後はケンタウロス族の賢者・ケイローンに育てられながら医術を学びます。名医となったアスクレピオスの治療を求めてギリシア中からやって来る患者のために彼は神殿を建てましたが、これがアスクレピオス神殿と呼ばれているもので、今日の病院のルーツとされています。やがてアスクレピオスはその優れた医術で死者すらも蘇らせ冥界の秩序を乱したため、ギリシア神話の最高神・ゼウスによって雷霆で撃ち殺されてしまいますが、その腕を惜しむ者が数多く、またその偉大な功績が認められ、死後に彼を星座として天空に上げ、へびつかい座にしたと伝えられています。

アスクレピオスの杖に巻付いている蛇は「クスシヘビ」と呼ばれ、漢字で書くと「薬師蛇」となります。クスシヘビは古代ギリシアにおいて、アスクレピオン(アスクレピオスの聖域)で聖蛇・アスクレピオスヘビとして飼育されていました。へびつかい座となり神となったアスクレピオスも両腕に大蛇を持っていますが、これは彼が常に蛇を

伴って病気治療に従事したという言い伝えによります。一説では蛇の唾液が治療の質を高めていたともいわれています。また、アスクレピオスが誤って蛇を殺してしまった時、仲間の蛇が草むらから薬草を持って出て来て、その薬草を死んだ蛇につけたところ、すぐに生き返って仲間と一緒に去って行ったことがあり、この出来事からアスクレピオスは薬草学を学んだそうです。

蛇は畏れられ忌み嫌われる一方で、「脱皮を繰り返すことから死と再生を意味する」「エサを食べなくても生き長らえる強靱な生命力」「強い毒は人を殺すこともできるが薬にもなり人を救うこともできる」ところから不老・不死・再生・長寿・健康のシンボルとして神格化され、聖獣として扱われていたと考えられます。



アスクレピオス像



WHO(世界保健機関)のロゴマークにもアスクレピオスの杖が用いられている

ヒュギエイアの杯

医療・医術のシンボルマークが「アスクレピオスの杖」であるならば、薬学のシンボルマークは「ヒュギエイアの杯」になります。ヒュギエイアはアスクレピオスの娘でギリシア神話の中で健康・衛生の神と呼ばれています。



ドイツの薬局ではヒュギエイアの杯をモチーフにした看板が掲げられている。アルファベットのAはドイツ語で薬局を意味する「Apotheke」の頭文字である

ヒュギエイアはアスクレピオンで飼われていた聖蛇・アスクレピオスヘビの餌やり役でした。餌を入れる器に利用していた聖杯が「ヒュギエイアの杯」と呼ばれるもので、聖杯とそれに絡みついた蛇のモチーフが看板として掲げられている薬局が欧州から中東にかけて多く見受けられます。ヒュギエイアは1匹の蛇と薬や水を入れた杯を携えた姿で描かれていることが多く、イタリア・ローマにある世界遺産、コイン投げで有名な「トレビの泉」のポーリ宮殿の壁と一体化したヒュギエイアの彫刻では、右手に蛇と杯が確認できます。また、ヒュギエイアは英語の衛生=Hygieneの語源ともなっており、「アルプスの少女ハイジ」の主人公・ハイジの由来にもなっています。



トレビの泉のヒュギエイアの彫刻

■第8回大阪薬科大学学術講演会 in 東京を開催しました

大阪薬科大学と大阪薬科大学同窓会の共催により、「第8回大阪薬科大学学術講演会 in 東京」を開催しました。東京近郊で活躍されている本学同窓生や本学関係者に多数ご参加いただき、大変活発で有意義な講演会となりました。また、講演後には、演者、座長、参加者を交えた懇親会を開催し、和やかな雰囲気の中、盛会裏に終わりました。

開催日 2020年2月2日(日) 14:00～17:00

場 所 ザ・プリンスさくらタワー東京

主 催 大阪薬科大学、大阪薬科大学同窓会

後 援 公益社団法人日本薬剤師会

内 容 特別講演(14:30～15:30)

「分子疫学研究による梅毒流行実態の解明と新たな謎」
大阪薬科大学 感染制御学研究室 駒野 淳 氏

招待講演(15:30～16:30)

「深層学習による認知障害リスク判定法の開発」
東京大学大学院 新領域創成科学研究科
人間環境学専攻 特任教授 酒谷 薫 氏



■本学の社会貢献活動 — 市民講座委員会からの実施報告及び今後の開催案内 —

2020年度に予定していた第49回・第50回市民講座は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催を中止します。

■論文博士学位記授与式を挙行了いたしました

2020年6月30日(火)論文博士学位記授与式を執り行い、鑄物将明氏に政田幹夫学長から博士(薬科学)の学位記が授与されました。

【論文題目】

難水溶性薬物ナノ粒子のin vitro評価法構築と吸収性向上効果に関する研究



寄贈

- ウエルシアホールディング株式会社様より、エタノール消毒液(500ml)を120本ご寄贈いただきました。
- 一般社団法人Life Happy Well様より、「メイプルアルコール75」の一斗缶をご寄贈いただきました。

ご寄贈品は感染予防のために有効に使用させていただきます。
皆様方のご厚意に対し、心より感謝申し上げます。

イベントの中止について

例年、春季にはアドバイザー単位での交流イベント「新入生交流・導入教育」や学友会主催による五月祭(新入生歓迎会)、球技大会を行っていますが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため残念ながらすべて中止となりました。

■健康管理支援室ってどんなところ？

本学のA棟一階奥に健康管理支援室はあります。
健康管理支援室って何？どういう時に利用するの？といった疑問に今回はお答えします！

平日8:45~17:00開室しており、通学中の怪我や健康相談、健康診断の再検査などに応じています。
「こんなことがあって話を聞いて欲しい・・・」などのお悩みも聞きます。もし必要であればそこから学生相談室で先生に相談もしていただけます。

入口の掲示板には感染症や心の相談窓口などに関する掲示物を貼りだし学生への情報提供を行っています。

部屋の中には身長・体重計や血圧計、救急バッグや包帯などの医療物品、実はアイロンやソーイングセットまであるんですよ。ベッドも2台あるので必要があれば利用していただけます。

授業の合間の息抜きに来られる学生もいます。何かあればお気軽に足を運んでみてくださいね！



■施設課だより

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、施設課では以下の感染拡大防止対策を行いました。

<アルコール除菌対策>

- 置型アルコール消毒器の設置
(講義室や研究室の入口付近等) …… 約300箇所
- 壁掛自動アルコール消毒器の設置
(エレベーター乗場付近、食堂やラウンジ、事務室入口等) …………… 約50箇所



<換気対策>

- 大型扇風機の設置
(講義室、ロッカー室等) … 約30台



<ソーシャルディスタンスの確保>

- 食堂券売機前、エレベーター内などにおける距離の確保を促す掲示
- 食堂、D棟ラウンジ等における座席数の制限



<その他>

- 事務室カウンター前に飛沫防止シートの設置
- 非接触型体温計約50台を購入し、研究室や実習室に配布

施設課では、今後も感染拡大防止のための施設整備に努めてまいります。

人事

退職(2019年12月31日付)

臨時教育補助教員 今野 秀樹
特任研究員 Srivastava Anirudh

退職(2020年3月31日付)

教授 松村 靖夫(定年)
教授 藤本 陽子(定年)
教授 松村 人志(定年)
教授 尾崎 惠一
教授(特任:再雇用) 脇條 康哲
教授(特任) 岡田 博
総務課長 松尾 真充
入試課長 藤田 純生

退職(2020年5月31日付)

特任研究員 前川 明子

退職(2020年6月30日付)

臨床教育・研究支援課 課長補佐 村田 祐子

退職(2020年8月31日付)

キャリアサポート課 契約職員 吉池 美智代

採用(2020年4月1日付)

教授 奥平 桂一郎
教授 福森 亮雄
助教 葉山 登

採用(2020年5月1日付)

准教授(特任) 津山 俊子

採用(2020年7月1日付)

教授 矢野 良一

再雇用(2020年4月1日付)

教授 松村 人志

昇任(2020年4月1日付)

教授 大喜多 守
入試課長 藤原 昭男
総務課長 垣貴 健
教務課 課長補佐 前野 真徳
教務課 課長補佐 中角 有希

配置換え(2020年6月1日付)

臨床教育・研究支援課主任から学生課主任 道本 哲哉

配置換え(2020年7月1日付)

教務課主任から総務課主任 浅原 久美子

大阪医科大学との人事交流(2020年5月1日付)

大阪薬科大学施設課主任から
大阪医科大学総務部総務課主任 藤井 健史

大阪医科大学との人事交流(2020年6月1日付)

大阪医科大学学務部入試・広報課主任から
大阪薬科大学臨床教育・研究支援課主任 小野 裕
大阪薬科大学学生課主任から
大阪医科大学学務部入試・広報課主任 堀江 雅彦

併任(2020年4月1日付)

キャリアサポート部長 戸塚 裕一(教授)
大学院博士後期課程・博士課程指導教員 奥平 桂一郎(教授)
大学院博士後期課程・博士課程指導教員 福森 亮雄(教授)
大学院博士前期課程担当教員 葉山 登(助教)

併任(2020年7月1日付)

大学院博士後期課程・博士課程指導教員 矢野 良一(教授)

兼務(2020年4月1日付)

広報室 垣貴 健(総務課長)
総務課 課長補佐 中角 有希(教務課 課長補佐)

兼務(2020年6月1日付)

産学連携推進室 小野 裕(臨床教育・研究支援課 主任)

兼務(2020年7月1日付)

大阪医科大学事務局付 主幹 三角 智津(図書・情報課長)
大阪医科大学財務部経理課 主任 野村 彰吾(経理課 主任)

兼務を解く(2020年3月31日)

広報室 松尾 真充(総務課長)

兼務を解く(2020年5月1日)

大阪薬科大学総務課 主任 森迫 宏幸
(大阪医科大学学務部学務課 主任)

兼務を解く(2020年5月31日)

産学連携推進室 道本 哲哉
(臨床教育・研究支援課 主任)

委嘱(2020年4月1日付)

薬剤師国家試験対策委員会委員長 大喜多 守(教授)
校医及び産業医 柚木 孝仁(非常勤)
学生相談室相談員 西田 裕子(非常勤)
学生相談室相談員 若林 暁子(非常勤)
アドミッション・オフィサー 藤原 昭男(入試課長)

解嘱(2020年3月31日付)

アドミッション・オフィサー 藤田 純生(入試課長)

招へい教授(2020年4月1日付)

田伏 克惇
橋田 亨
野口 正弘
尾崎 惠一
尾崎 和男

招へい教授(2020年5月1日付)

招へい教授(2020年9月1日付)

中張 隆司
赤池 昭紀

客員研究員(2020年2月1日付)

客員研究員(2020年3月1日付)

客員研究員(2020年4月1日付)

吉田 洋
上里 新一
春沢 信哉
島本 史夫
荒川 行生
藤田 芳一
松島 哲久
田伏 克惇
橋田 亨

客員研究員(2020年5月1日付)

客員研究員(2020年6月1日付)

客員研究員(2020年7月1日付)

客員研究員(2020年8月1日付)

客員研究員(2020年9月1日付)

野口 正弘
尾崎 惠一
尾崎 和男
加藤 和明
金星 匡人
倉田 貴子
高木 陽子
中張 隆司
内藤 雅人
森 龍彦
村上 能庸
赤池 昭紀



新任挨拶

薬物治療学Ⅱ研究室 教授

福森 亮雄

2020年4月1日付で標記の職に着任しました。私は大阪大学医学部を卒業後、精神科臨床の傍ら、アルツハイマー病の基礎研究に取り組んで参りました。今年は、新型コロナ禍の中、病院薬剤師に焦点を当てたドラマも放映され、薬剤師の臨床医療への益々の関わりが求められつつあります。それに対応できるような、実臨床を念頭に置いた薬学教育や病態解明研究に全力を尽くす所存です。ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



衛生化学研究室 教授

奥平 桂一郎

この度、2020年4月より藤本陽子先生の後任として、衛生化学研究室(環境分子生理学研究室より名称変更)の教授に就任致しました奥平桂一郎と申します。歴史と伝統ある本学での教育、研究、地域に果たす役割を鑑みると、大変光栄であると同時に、責務の大きさに身の引き締まる思いが致します。本学の発展のために微力ながら力を尽くして参る所存でございますので、ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



臨床薬学教育研究センター 教授

矢野 良一

2020年7月1日付で臨床薬学教育研究センターに着任いたしました。私はこれまで病院薬剤師として、主にがん薬物療法や女性医療の領域、また医療安全管理の仕事をしてきました。「患者さんのため」という明確な目的がありとても楽しい仕事でした。今後は「人を育てる」という難しい目標に対し、教育・研究活動を通じて真摯に向き合い、また一方でそれを楽しみながら、全力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



臨床薬学教育研究センター 准教授(特任)

津山 俊子

2020年5月1日付で臨床薬学教育研究センターに着任いたしました津山俊子と申します。製薬会社で開発治験に携わった後、子育て期間を経て調剤薬局で勤務してきました。薬局薬剤師勤務時は、地域連携、薬業連携、実務実習に従事して参りました。薬局薬剤師は患者を健康な時からみえています。「薬剤師は病気を見るより患者を見るのが仕事」。そのような視点で患者に寄り添える薬剤師を輩出したいと考えています。これからも皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



有機薬化学研究室 助教

葉山 登

この度、2020年4月1日付で有機薬化学研究室に助教として着任いたしました葉山登と申します。私は2016年に京都大学大学院の博士課程を修了後、武庫川女子大学で助教として4年間勤務しております。専門は有機化学であり、特に触媒反応について研究して参りました。微力ながら本学の教育と研究に貢献できるよう努力いたしますので、御指導御鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。



臨床教育・研究支援課 主任

小野 裕

本年6月1日付で本学の臨床教育・研究支援課に配属されました小野 裕と申します。大阪医科大学から異動して参りました。研究関連業務は大阪医科大学では全く従事したことがなく、今回初めての経験で現在、聞き慣れない言葉や業務と格闘しながら進めております。まだまだ、ご迷惑をおかけすることが多いですが、少しでも研究者の皆様の支援ができますよう日々努めて参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。





図書館の新型コロナウイルス感染症拡大予防対策

図書館でも新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、館内の各所に消毒液、什器消毒液、紙タオルを設置しています。受付カウンターには飛沫防止パネルを設置し、対応する職員は、マスクはもちろんのこと、場面に応じて手袋やフェイスシールドを着用しています。PC席、閲覧席には飛沫防止パネルを設置し、4人掛けテーブルは1人のみの使用とするなど、座席数を減らして密を防ぎ、座席、PC、コピー機の使用後には必ず消毒を行い、感染防止に努めています。

また、気持ちよく本を借りていただくため、書籍消毒器を設置しました。



閲覧室



書籍消毒機

図書館の利用は**予約制**です

図書館は一部サービスを制限し、**事前予約制**としています。利用できる時間は平日の**9:30~17:00**、利用申込みは**前日の15:00**までに申請フォームより**予約が必要**となります。(9月1日現在)



「積読」を知っていますか？

「積読」を知っていますか？「積読」で検索すれば、いくらでも情報が出て来ます。ちなみにこれは「つんどく」と読みます。「積ん読」とも書きます。とあるサイトでは、『本を購入し、「いつか読もう」と思ってはいるものの、まだ読まずに放置してある（積んである）状態、あるいはその本を意味する語。「積んどく（積んでおく）」に掛けた表現である。』と解説しています。

好きな作家だから買った本、新刊の広告を見て買った本、他人のブログで紹介されていて興味を持って買った本、実際に本屋に足を運んだ際に「あ、これ読みたい」と思って買った本。購入しただけで、読まないままに机の上などに積みっぱなしにしている…でも、腐らないからいいや、後で読むから今はいいや、と自分に言い訳しながらも罪悪感に苛まれる…「あ、自分はまさにこれだ！」と心当たりのある方、いらっしゃいますよね。

そんな方々も新型コロナウイルス感染症の影響で「緊急事態宣言」が発令され、期間中は「ステイホーム」を余

儀なくされ、「お家時間」が増え、積読本を減らす絶好のチャンス!とばかりに読書に集中された方も中にはいらっしゃるかも知れません。しかし、最近、このような罪悪感を覚えていらっしゃる方々に朗報がもたらされました。

一時、ネットを賑わせましたが、「本は買って積んでおくだけでも効果がある」という何ともポジティブシンキングな話題です。

①本を買う → ②本を積む → ③積んだ本から現代の科学では解明できない念波を受信して脳細胞が活性化するだそうです。この他にも積読にはたくさんのメリットがあるといった内容のコラムがネットでも多くヒットします。どう受け止めるかは自分次第です。本に囲まれているだけで幸せという人もいるでしょうし、本の内容は関係なく、装丁に惹かれてインテリアの一部にしている人もいるでしょうし、さあ、あなたはこれをどう解釈しますか？





疫病退散

我々人間は古来より、幾度となく目に見えない疫病と戦って来ました。疫病を退散させるためには、それに効く薬の登場が待たれるのですが、病気は悪霊や精霊の仕業だと考えられていた頃は、病気に立ち向かう薬以外の術として、神仏の力を借りたり、悪霊や精霊が苦手とするものを利用したり、様々なまじないや儀礼が行われて来ました。本誌でもたびたび紹介

している大阪・道修町の少彦名神社の張り子の虎もその一つです。文政5年にコレラが大流行した際、道修町ではコレラを鎮めるために薬種問屋が丸薬を造り、張子の虎を神前に供え、疫病祈願を行いました。

新型コロナウイルスの収束に向け、ワクチンの開発が待たれていますが、このコロナ禍の中、「アマビエ」が一躍有名になりました。「アマビエ」は長い髪にくちばし、うろこを持った3本足の半人半魚の妖怪で、古くから疫病退散にご利益があると言い伝えがあることから、今回注目を浴び、様々な厄除けグッズが登場しました。

さて、本学の資料室にも厄除けに関連する資料が保管されています。写真ははくたく ひがいき「白澤避怪図」と呼ばれるもので、白澤は知識を司るといわれる中国の想像上の神獣です。6本の角と9つの眼を持ち、人と会話することができ、病魔を防ぐ力があると信じられ、この絵を持っていけば災難や病気から免れると江戸時代に流行したようです。

いつの時代も人間はこういったものに願いを託し、鎮静化を祈るものなのですね。

なにはともあれ、新型コロナウイルスの1日も早い収束を願うばかりです。



事務室入口にハリーちゃんの顔のアマビエを掲げて、コロナ収束祈願しています



「白澤避怪図」

編集後記 「特別な夏」

2020年夏。「今年は特別な夏。」

小池百合子東京都知事はそう言った。

自国開催のオリンピックで選手たちの活躍の目撃者になるはずだった夏。高校球児たちが繰り広げる熱闘に胸躍らせるはずだった夏。家族や友人と海や山に行って休日を思いっきり満喫するはずだった夏。

それなのに…。

テレビをつけてもオリンピック中継はない。テレビをつけると甲子園で交流試合はやっているけれど、スタンドに観客の姿はない。ニュースでは「本日の感染者数は〇〇人」と毎日報道され、外出するのが怖くなる。一歩外に出れば、連日の茹だるような暑さの中で汗をぬぐいながらマスクを付ける人、人、人。

オリンピックや高校野球の熱戦の「熱さ」がない代わりに酷暑猛暑の「暑さ」に見舞われ、この日常でない異常さはまさに「特別な夏」だった。

約100年前の1918（大正7）年から1920（大正9）年にかけて世界的にパンデミックとなった所謂「スペイン風邪」。大阪でも死者が1万人以上あったといえます。当時、大阪薬科大学の前身「大阪道修薬学校」も少なからず影響はあったはず。生徒はどんな気持ちだったんだろう、学校はどんな対応をとったんだろうと調べてみたものの、残念ながらそれがわかる資料は残っていませんでした。あらためて、記録すること、資料を残すこと、後世に繋げていくことの大切さを思い知った夏でもありました。

大阪薬科大学は2021年4月に大阪医科大学と大学統合しますが、116年の歴史を色褪せさせることなく、しっかりと後世に繋げて行きたいと思います。

広報委員：図書・情報課長 三角 智津



ご意見・ご要望等連絡先メールアドレス

✉ kouhou@gly.oups.ac.jp メールタイトルに「学報」と明記してください。



ナツメ (クロウメモドキ科)

Ziziphus jujuba Miller var. inermis Rehder

薬用植物園長 教授 谷口 雅彦

薬用植物園 技術職員 忍穂 陽介



ナツメの原産地は中国から西アジアで、日本には奈良時代以前に渡来したとされる。落葉の小高木で、高さ10メートルに成長する場合もあり、よく分枝する。葉は、小枝に互生して葉柄は短く、卵形が長卵形で長さは2~4センチ、3主脈があり辺縁には鈍鋸歯がある。花は、4~5月頃に葉のわきに淡黄色の小さな花を数個ずつ付ける。果実は核果で楕円形をし、はじめは淡緑色で熟すと暗赤色になる。種子繁殖はしにくいのがくまれに芽吹く種子もある。一度苗を植えると荒地や寒暖にも強く、離れた場所の根からひこばえも出してよくふえる。甘いものの珍しい一昔前は重宝され、庭などにも植えられたが、トゲが多いのと繁殖力の強さから、そういった場所からは姿を消している。これに良く似た母種のサネブトナツメ (*Z. jujuba* var. *spinosa*) は、果肉が薄く、酸味も強いので食用には向かない。また、サネブトナツメの枝には托葉が変化したトゲが多いが、ナツメにはトゲが無いが、あるいは少ない。このことはナツメの変種名につけられた「inermis」がラテン語の「武装していない、丸腰の」の意味で、トゲの無い(少ない)ことを示している。本学のナツメには大きなトゲが少しあるので観察するときには十分に気をつけてください。和名のナツメの由来は、芽吹くのが遅いため「夏に芽」を出すことから「夏に実」がなることなど諸説ある。抹茶を入れ

る茶器の棗(なつめ)は、ナツメの果実に形が似ていることから名付けられている。

熟した果実を乾燥させたものが生薬タイソウ【大棗】であり、

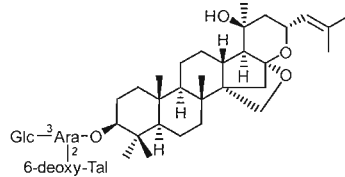
滋養強壮を目的とした漢方処方にショウキョウ【生姜】と共に配合されることが多い。また、漢方製剤の多くに配合されているが、治療の君薬(主薬)になることは殆ど無く、使薬(処方の中で君臣佐薬の補助をする生薬)として処方の調和を目的とされている。主な漢方処方として、葛根湯、補中益気湯、小建中湯、甘麦大棗湯などがある。また、関連生薬としてサネブトナツメの種子をサンソニン【酸棗仁】として用いられ、鎮静、催眠を目的に酸棗仁湯、帰脾湯などに配合されている。

含有成分は、果糖やショ糖などの糖類の他、トリテルペンサポニンのジジフサポニン I~III、トリテルペンのベツリン酸、oleanol酸、およびサイクリックAMPなどが知られている。

ナツメの葉には味覚修飾物質となるジジフィンを含んでおり、1枚の葉を少しかんだ後、舌の上に1分間ほど乗せておくとショ糖や果糖さらにステビオシドやアスパルテム等の甘味料の甘みを感じにくくなるが、他の苦味や塩味などには影響は無い。これは、選択的に味蕾の甘味受容体を阻害しているためである。1時間ほどで元に戻るのも興味のある方は一度試してみてください。但し、本学のナツメの葉を採るときにはくれぐれもトゲに注意してください。

参考

薬草カラー図鑑 主婦の友社
原色日本薬用植物図鑑 保育社
生薬単 丸善雄松堂



ジジフサポニン I

主な後期行事予定

※新型コロナウイルスの感染症等の影響により変更することがあります。

2020年			2021年		
9月	28日(月)	後期授業開始(4年次生)	1月	16日(土)・17日(日)	2021年度大学入学共通テスト
10月	5日(月)	後期授業開始(1~3年次生)	2月	1日(月)	2021年度一般入試A
12月	8日(火)・9日(水)	CBT本試験	3月	9日(火)	2021年度一般入試B
	13日(日)	2021年度公募制推薦入試・指定校制推薦入試		20日(土)・21日(日)	第106回薬剤師国家試験
	19日(土)・20日(日)	OSCE本試験		6日(土)	2020年度学位記授与式

表紙のことは「オンデマンド授業」

今春、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、大学への入構を禁止し、授業をオンデマンド講義に切り替え、キャンパス風景が一変しました。

オンデマンド授業実施が決定したものの、準備期間が短く教員は試行錯誤を繰り返しながら講義の収録に臨み、学生のみなさんは戸惑いと不安の中で受講されています。



大阪薬科大学公式Twitterを開始しました!

大阪薬科大学では、Twitter(ツイッター)を使用した情報発信を開始しました。Twitterをご利用の方は、ぜひ「フォロー」をお願いいたします。
大阪薬科大学公式Twitter (アカウント名:@OUPS_PR)